



(タイトル：滑川高校3年生 小竹杏奈さんの作品)



令和5年度議会報告会を開催しました！

令和5年6月定例会一覧

		21・22日	21日	20日	12日	開会 6月27日	開会 6月12日
		総務文教消防委員会	産業厚生建設委員会	情報技術調査特別委員会	議会運営委員会	会期16日間	
		予算(原案可決)	条 例(原案可決)	その他(原案承認)	その他(原案可決)		
		陳情(不採択)	人 事(原案同意)	陳 情			
合 計		2件	4件	2件	1件	8件	1件
		18件					

議会を傍聴しませんか。次回の定例会は9月です。



◆令和5年6月定例会

令和5年度一般会計補正予算(第2号)

(4億2,755万3千円)

など、市長提出議案16議案を可決・承認

6月定例会

本会議

◇6月12日に本会議を開き、まず会期を27日までの16日間と決めた後に、令和5年度一般会計補正予算及び条例等の市長提出議案8件及び報告2件が一括上程され、市長から提案理由の説明がありました。

一旦、本会議を閉じ、全体委員会を開いて担当部課長から議案の補足説明がありました。

◇20日、21日は代表質問及び一般質問が行われ、13名の議員が市政一般に対する質問及び提出諸案件に対する質疑を行った後、市長提出議案及び陳情1件を所管の各常任委員会へ付託しました。

◇最終日の27日には本会議を再開し、総務文教消防・産業厚生建設の各常任委員長から、それぞれの付託議案の審査結果の報告がありました。

市長提出議案8件については一括採決の結果、各常任委員長の報告のとおり賛成全員で可決または承認されました。

次に、陳情第1号について採決され、賛成少数で不採択となりました。

次に、情報技術調査特別委員長から「滑川市議会タブレット端末等の使用基準について」の報告があり、賛成全員で承認されました。

その後、市長から人事案件として8議案が追加提案され、農業委員会委員の任命について、いずれも賛成全員で同意としました。

最後に議員派遣について議決し、閉会中の継続審査を決定して、6月定例会を閉会といたしました。

滑川市農業委員会委員

- 松井 滋 樹(領家町)
- 澤田 博 行(北野)
- 中屋 作 之(四ツ屋)
- 石原 忠 則(栃山)
- 江下 博(大崎野)
- 高橋 美 彦(小林)
- 新村 剛(沖田新)
- 杉本 久美子(七日)

常任委員会での審査

(主な質疑等)

各常任委員会への付託案件はP14をご覧ください。

総務文教消防委員会

慎重審査の結果、付託された4議案につきましては、賛成全員で原案のとおり可決または承認すべきものと決定しました。

委員会での主な質疑

☆地方自治法第179条による専決処分の承認を求めることについて

専決第1号 令和4年度滑川市一般会計補正予算(第8号)

問 各基金積立金の金額が大きくなっているが、計画通りのものであるか。

答 市税・交付税等について、当初予算額を超える収入があったことから、その剰余分を各基金に積み増したものである。積み増しばかりではなく、市民サービス向上のため、いろいろな事業への充当も考慮しバランス良く配分できるよう考えていきたい。

(水野市長) 今後、公共施設の維持管理には莫大な経費が見込まれることから、積み増し等についてはご理解いただきたい。

産業厚生建設委員会

「陳情第1号」につきましては、

21日に委員会を開催し、陳情者の趣旨説明を行うことを決定しました。

23日の審査においては、陳情者から趣旨の説明を受けた後に、当局より「タラソピア廃止後の施設については、昨年度に引き続き、民間事業者へのサウンディング型市場調査も実施することとしており、他にも様々なご意見を幅広く聞き、解体・改修の可能性も含め、検討していく。」との見解が示され、質疑を行いました。慎重審査の結果、賛成少数で不採択とすべきものと決定しました。

また、付託された6議案につきましても、慎重審査の結果、賛成全員で原案のとおり可決または承認すべきものと決定しました。

委員会での主な質疑

☆陳情第1号

問 市民交流プラザにタラソピアの機能を持たせることはできないか。

答 (水野市長) そういったことも含めて検討したい。

意見 タラソピア廃止後の施設の方向性については、時間がかかっても慎重に考えていくべき問題ではないか。

☆令和5年度滑川市一般会計補正予算(第2号)

問 中滑川複合施設の階段転落防止対策について、オープン早々の施設改修となるが、設計時に盛り込んでおくべき部分ではないか。

答 (水野市長) 当初見落としていた部分があり、危険を未然に防ぐため、予算計上したものである。

☆滑川市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例の制定について

問 現在生活保護の医療扶助の対象となっていないマイナンバーカードを保有していない方について、令和6年3月以降、万全の対応はできるのか。

答 現在のところ、マイナンバーカードを保有していない方についても、紙の医療券も併用することができるとされており、必要な受診に支障がないようにする。

情報技術調査特別委員会

「滑川市議会タブレット端末等の使用基準について」を取り決め、次のとおり報告しました。

情報技術調査特別委員会は、議長との諮問により、次世代情報通信技術の議会、行政における活用やペーパーレス化に関する調査研究などを目的として、令和3年11月の臨時会において全議員をもって設置されました。

委員会協議会を開催して調査、研究を重ね、昨年7月には射水市議会、10月には姉妹都市である栃木県那須塩原市議会、長野県小諸市議会におけるタブレット端末の導入状況等を視察するなどして、ICTツールの利活用をはじめ、市議会での情報技術に関わる検討等を進めてきたところであります。

これまで、議場等への情報通信機器の持ち込み使用は認めておらず、議案や資料に関しては紙が基本となっておりました。今後、ICTの利活用等により、それらを電子化し、ペーパーレス化の推進を図り、議案審議の活発化や質の向上を目指して

いくことは、議会にとっても当局にとっても必要なことであります。

当委員会では、タブレット端末等の導入は有益との結論を得、今後、市議会及び当局が導入・使用するタブレット端末等のほか、個人所有の情報通信機器についても持ち込み使用を認めることとし、双方の使用に関する内容を併せ持つ使用基準として定め、本日以降、運用していくことといたしました。

この基準において、本会議等において使用できる機能や使用にあたっての注意事項等を定めておりますが、必要最小限度の規定としており、今後、実際にタブレット端末等の使用や活用を進めていく中で、必要があれば都度見直しをしていくべきと考えております。

ICTの分野は日進月歩で、次々と新しい技術が開発されていきます。活発な議論を通じて市民福祉の向上と市政の発展に資するという議会本来の役割を果たしていくために、今後時代の変化にあわせ、滑川市議会として新しい技術の活用に積極的に取り組む、「市民に開かれた議会」を目指すべく努めていくことを付言して、本委員会の報告といたします。

第一回臨時会

◇7月10日(月)に本会議を開き、まず会期を決めた後に、中学校教諭過労死訴訟判決に伴う損害賠償金などを盛り込んだ一般会計補正予算の市長提出議案1件が上程され、所管の総務文教消防委員会に付託しました。

その後、本会議を開き、総務文教消防委員長から、付託議案の審査結果報告し、議案は委員長報告のとおり、賛成全員で可決し、閉会いたしました。

総務文教消防委員会での審査

問 安全義務違反の具体的な内容はどういったものと考えているか。

答 部活動については先生の裁量が大きく、学校で把握できていなかった部分がある。今後は平日や休日の活動時間を決めて、休みを入れるなど対応していきたい。

問 事件発生当時の市当局としての対応は適切なものだったのか。

答 当時の職員がいなかったため即答はできないが、しっかりと確認したい。

問 先生健康診断の結果を把握し、

再検査となった場合は病院に行けるような環境にあるか。

答 管理職から声かけし、行きやすい環境を作っていくたい。

(上田教育長) 部活動は大事な活動であるが、学業と部活動の分け隔てをつけ、勤務実態を把握して一人一人に応じた対応をしながら、より一層の働き方改革に努めていきたい。

(水野市長) 今回の件を踏まえ、働き方改革の流れを滑川市から発信していきたい。

日誌

5年5月

10日 総務文教消防委員会協議会

産業厚生建設委員会協議会

定例議員協議会

情報技術調査特別委員会

協議会

19日 議会報告会

20日 東京滑川会総会・懇親会

(東京都)

6月

5日 議会運営委員会

6日 東京富山県人会

「懇親のつどい」(東京都)

7日 定例議員協議会

12〜27日 6月定例会

13日 富山県選出国会議員との

懇談会(東京都)

14日 全国市議会議長会

第99回定期総会(東京都)

26日 富山県東部消防組合議会

6月臨時会

27日 議会報編集委員会

広報広聴委員会

7月

1日 関西滑川会総会・懇親会

(大阪府)

3〜5日

総務文教消防委員会行政視察

(石川県能美市・福井県大

野市・福井県勝山市・石川

県加賀市)

産業厚生建設委員会行政視察

(滋賀県米原市・大阪府貝

塚市・大阪府摂津市・福井

県鯖江市)

7日

富山高山連絡道路(国道41

号)整備促進期成同盟会・

富山外郭環状道路整備促進

期成同盟会 合同総会・

事業説明会(富山市)

10日

議会運営委員会

定例議員協議会

第1回臨時会

13日

議会報編集委員会

富山県日台友好議員連盟

総会(富山市)

18日

神奈川県座間市議会より

行政視察

21日

沖田川中流域治水対策

促進期成同盟会総会

26日

上市町議会との親善交流会

(上市町)

28日 朝日滑川間国道・バイパス

建設促進期成同盟会総会

(魚津市)

東部山麓道路建設促進期成

同盟会総会(魚津市)

北アルプス横断道路構想推進

会議総会・講演会(魚津市)

代表質問

6月定例会では13名の議員が質問を行い、49項目について市当局の見解を求めました。

質問と答弁の主な内容は次のとおりです。

(すべての質問等詳細を記録した会議録は、9月中旬頃までに、市立図書館に配付する予定ですのでご利用ください。また、滑川市ホームページの市政情報には、議会会議録検索システムが搭載されており、お持ちですので、ご利用ください。)

※質問者の最後のQは、掲載外の質問事項です。

議会改革度調査

2022発表

毎年、早稲田大学マニフェスト研究所が実施している「議会改革度調査2022」において、滑川市議会が1,461議会中の215位にランクされました。(都道府県議会及び市区町村議会含む)

代表質問



- 1 子ども達の学習環境について
 - 2 中学校部活動の土日の地域移行について
 - 3 コミュニティバス事業について
 - 4 ふるさと龍宮まつり海上花火大会について
- (会派〓志真会) 竹原 正 人 議員



Q 現在1人1台タブレット端末を使用し、ICT教育の充実を図っているが、全ての児童・生徒がどのように理解し、活用しているのか実情を伺う。

A 上田教育長 個別最適な学びとしてデジタルドリルを活用することで、一人一人の理解に応じた進度で進めること、自分の課題について興味・関心を持って調べることができると、調べたことをまとめて発信するプレゼン資料を作成することなどに活用されている。

Q 中学校部活動の地域移行実証事業として予算計上がされているが、いつまで国が補助金を出すか不明なまま取組を進めると、いずれは市の単独予算での対応も考えていかななくてはならない時期が来る。指導者の確保等、今後の進め方について見解を伺う。

A 上田教育委員会事務局長 市内で活動するスポーツ少年団やクラブなどとの公平性から、休日の部活動参加者の応分の負担は避けられないものと考えられるが、国の補助事業や他自治体の状況なども把握しながら、その支援について研究していきたい。また、指導者の

確保については、各競技団体へのヒアリングの実施や、滑川市地域連携部活動推進協議会を設立し協議を進めている。

Q コミュニティバスは、乗客を乗せていなくても市内を走っていることから、市内行事等の案内告知をする移動広告車としての役割も必要であると以前から要望してきたが、一向に取り入れてもらえない。今回のラッピングに期待したいと考えるが、見解は。

A 水野市長 市内行事等の移動広告車としての活用は、昨年度策定した新しい地域公共交通計画において、イベントまでの移動広告としての活用を含む広告収入の拡充について、今後進めるべき取組と位置付けたところである。今後、市役所内の各課や各種団体などに周知をして取り組んでいきたい。

Q ふるさと納税のメニューに花火大会の観覧席を対象にした返礼品が追加されたが、実績はどうか。

A 柿沢副市長 令和5年6月1日より、花火大会の特別観覧席をふるさと納税返礼品として追加した。周知に努めているが、6月19日現在、寄附申込みは入っていない。

代表・一般質問での質疑応答における当局とのやりとりのうち、どの部分を掲載するかについては、各質問者が選んでいます。

代表質問



- 1 観光振興について
 - 2 農業の振興について
 - 3 滑川海浜公園キャンプ場について
- (会派〓会派自民) 原 明 議員



Q 今年のほたるいか海上観光に、68人の外国人観光客が含まれていた。外国人観光客への今後の取組をどのように考えているか。

A 水野市長 外国人観光客については、新型コロナウイルス感染症に伴う行動制限や水際対策が緩和されたことから増加傾向にある。富山県や一般社団法人富山湾・黒部峡谷・越中にかわ観光圏の協議会をはじめとした広域連携等の取組が重要だと思っており、滑川市観光協会のホームページでの情報発信をさらに強化し、外国人観光客の誘致に努めていきたいと考えている。

Q 市制70周年記念事業として、祭りのグレードアップへの費用補助や、町制70周年を迎える上市町とのタイアップを実施することのことだが、どのように推移しているか。

A 黒川産業民生部長 事業内容として、春のホタルイカ祭り、行田公園キャンドルナイト、滑川のネブタ流し、なめりかわランタンまつり等を対象としている。上市町とのタイアップ事業については、相互のイベントに出展することや自転車を活用した事業の実施を検討している。

討している。

Q 滑川市の農業の在り方や、農地利用を進める地域計画策定の準備状況を伺う。

A 黒川産業民生部長 地域計画の内容は、農地の出し手、受け手の意向把握を基に地域との意見交換をしながら、地域農業の将来の在り方の計画と10年後の農業を担う方を地図に示す目標地図を作成することとし、令和6年度末までに策定すると定められている。

Q 海浜公園オートキャンプ場は、世界で最も美しい湾クラブ加盟の富山湾から能登半島、振り返れば雄大な立山連峰の大パノラマを望める自然公園である。富山湾、能登半島、立山連峰の案内板の設置が必要だと思うが、見解を伺う。

A 岩城建設部長 滑川海浜公園の展望の丘には、立山連峰や富山湾、能登半島が一望できる矢倉を整備している。キャンプサイトの利用者の約26%が県外であり、施設利用者への満足度を上げるためにも案内は必要と考えている。

その他の質問

- ・有害鳥獣の被害について
- ・行田公園内の花菖蒲園の整備について
- ・市内の道路、河川の管理と整備について

一般質問



1 教育について
2 新型コロナウイルス感染症について

岩城 晶 巳 議員



Qこの夏休みに行われる、なめりかわみらい学校プロジェクト事業について、実施する目的と狙い、内容について問う。

A高森企画政策課長 本事業の目的は、社会の本物の課題に対して実践を等して探究力を鍛錬し、私から社会をよくできる、変えていくという社会参画意識を育てることである。狙いとして、社会参画意識の涵養を学校や家庭だけではなく、地域が担うことにより、市全体として未来の人づくりに取り組み、その端緒として本プロジェクトを実施するものである。内容は8月初旬に自己紹介を兼ねたオリエンテーションを実施し、8月下旬の4日間のスクールでは、まず、市内の企業や自然を学ぶためのフィールドワークを実施し、次にメリカにおいて年代ごとのいくつかのグループに分かれて自分たちで問いを作成し考えるグループワークを実施する。最後にグループごとの提案発表を行う予定である。

事なのは子供たちの負担にならず人集めも学校に迷惑かけないということと考えるが。

A高森企画政策課長 議員指摘のとおり、子供たちやそのご家族、教員の負担になつてはならないと考えている。学校に対して、参加者の推薦や取りまとめを依頼せず、参加希望者が直接申込みする方式を採用する。参加希望者の集まりが悪い場合は、学校に対して参加を促してもらうが自発的な参加を求めらるもので、教員の引率は必要としない。

Q学校で緩和された予防対策、また継続されている対策はあるか。

A椎名教育総務課長 マスクの着用は個人の判断に委ね、着用を求めない。同居家族が感染しても出席停止を求めない。換気や手洗いは必要に応じてアルコール消毒等を引き続き励行している。様々な面で制限の多かった令和2年度からの感染症対策を見直し、安心して充実した学校生活の中で子供たちの学びを保障し、心身の成長を図っている。

Q実施することに反対ではないが、子供たちは一週間のうち何回も習い事に行つて忙しい。何よりも大

・マイナンバーカードについて

一般質問



5 4 3 2 1
子育てについて
学校教育について
DXについて
防災を含む安全対策について
市制70周年記念事業について

水橋 真 治 議員



Q滑川市として、病児・病後児保育園を開設する予定はあるのか。

A牧田子ども課長 新たな病児・病後児保育施設の開設は、人員確保や施設整備の必要があることから、現時点では難しいと考えているが、保護者に利用しやすい病児・病後児保育事業について調査研究していきたい。

Q市内各小中学校の校務のデジタル化、特に小学校の各学期末や年度末の、教師多忙化解消のため、諸帳簿の連動は進んでいるのか。

A椎名教育総務課長 県や他市町村と連携した統合型校務支援システムについて、学校や関係機関と連携して、内容を精査しながら今後の方向性を考えていきたい。

Qこれまで開催されたスマホ教室開催の成果や、今後の課題を問う。

A松山DX推進課長 昨年度スマホ教室を20回開催し、100人あまりの参加があった。1月から3月にかけて、スマホを持たない方も対象とした教室を8回開催し、約60人が参加した。いずれも大変好評であったが、教室に参加しない方へのスマホの必要性を感じない方へのアプローチが課題と認識している。

Q町内会情報伝達アプリ「結ネット」の現在の導入要請状況を問う。

A松山DX推進課長 現在、新たに6町内会から申込みがあり、このほか複数の町内会から問い合わせがある。今後、引き続き導入促進に努めたい。

Q市民から、メリカの中はどういう備蓄品があるのか知らないという声があった。ホームページ等で知らせる方法はあるか。

A高倉総務課長 メリカの備蓄品については、ホームページ等を活用し周知に努めたい。

Q市内公共施設の安全点検は適切に行われ、修繕等の安全対策は取られているのか。

A長崎財政課長 日頃から各所管課で、法律に定められた定期点検のほか、必要に応じて保守点検を専門業者に依頼し、安全の確保に留意している。修繕箇所等を発見した場合は、速やかに修繕を行い、適切な維持管理に努めている。

Q市制70周年記念誌の発行予定はあるのか。

A高森企画政策課長 発行は予定していないが、市勢要覧の発行準備をしているところである。

一般質問



大浦豊貴 議員

1 SDGs 未来都市について
2 地域脱炭素・地球温暖化対策の取組について



Q 内閣府から令和5年度SDGs未来都市の選定結果が公表されたが、選定を目指した本市は選ばれなかった。計画の詳細を問う。

A 高森企画政策課長 提案書として応募した内容は、まちづくり共創会議やSDGsワークショップなどを経て、地域課題や地域資源、将来ビジョン等の検討を行い、人材育成を核として据えた地育地生のまちを目指したものである。子育て施策が充実している等の強みを活かし、子供たちが成長することによって、好循環を生み出していくモデルとしたものである。

Q 今後、今回提出した施策は、市の指針として取り組むのか。また令和6年度のSDGs未来都市の選定に向けて取り組むのかを問う。

A 高森企画政策課長 今回、本市においては不採択であったことから、今年度の提出書について、指針とすることは考えていない。ただし、市の人づくりに関わる事業等については実施したいと考える。また、SDGs17のゴールを達成するため、効果的な取組と再考が必要な取組について、個別の事業ごとに整理しながら、令和6年度

の選定に向け、今年度の提出書を練り直しながら進めていく。

Q 内閣府より選定に至らなかった自治体の総評として公開されているが、本市に直接的にフィードバックがあったのか。

A 高森企画政策課長 ワークショップ開催に事業予算が集中しているように見受けられ、実効的な取組に対する事業が弱いように思われるという講評があった。また、KPIについても成果が不明瞭で、選定に工夫が必要と講評を受けた。

Q 脱炭素先行地域などの支援メニューは、補助額も有利に働くものが多い。しかし、国の優先採択を受けるには、各種計画や、実際に事業、施策としてすでに行っているかが重要である。本市は遅れていると考えるが見解を問う。

A 水野市長 脱炭素先行地域に關しては補助率も3分の2にのるようなものもあるが、選定のハードルが高いと考えている。しかし、脱炭素に關しては進めていかなければならないものであり、国全体の課題でもある。国の補助も期待しながら、まずは区域施策編の策定に向け努力していく。

一般質問



安達真隆 議員

1 漁業振興及び漁港周辺の運営について
2 滑川市公共施設廃止後の利活用について



Q 今年のホタルイカの漁獲量は最低だったと聞いているが、その見解を問う。

A 永田水産観光課長 滑川における今年のホタルイカ漁獲量は約70トン、過去10年では最少を記録し、ここ10年の平均約370トンに対して、2割程度の漁獲量となった。

Q ほたるいか海上観光の今後の在り方について考えを聞く。

A 永田水産観光課長 ほたるいか海上観光は天候に左右されやすい観光であり出航率を向上させる方策はなかなか見いだせないが、今後も海上観光を継続していきたい。

Q 滑川市の所有する「キラリン」で1便、2便と運航できないか。

A 永田水産観光課長 現在2隻体制で運航しておりニーズの高い観光である。ホタルイカを一度に見られるお客様が多いことから、多少お金をかけてでも2隻体制で運航している所である。

Q タラソピアについて、今後の活用策をどう考えているのか聞く。

A 永田水産観光課長 タラソピア廃止後の活用策について、民間事業者へのサウンディング型市場調査を実施して施設の活用方法、改

修する場合はその改修の内容、運営に關する費用、具体的な運営方法を聞きながら判断することとしている。

Q 大手カフェチェーン店などを誘致して人を集める考えはないか。

A 永田水産観光課長 大手カフェチェーン等の誘致については魅力的であり本市への誘客につながり、今後検討を進めていきたい。

Q 青雲閣解体後の跡地利用計画は。

A 丸山生涯学習・スポーツ課長 跡地利用計画は東福寺野自然公園と一体的な活用を視野にサウンディング型市場調査等を実施し検討していく。

Q 青雲閣とSLホテルを一本化して、別にコンパクトな研修施設の建設を考えてはどうか。宿泊施設は足りなければコンテナハウスやトレーラーハウスなど簡易的なものもあるがどうか。

A 丸山生涯学習・スポーツ課長 昨年実施したアンケート調査結果では跡地に研修施設を希望する意見は多くなかったところであり、議員からの提案も含め、今後の在り方について検討していきたいと考えている。

一般質問



1 国民健康保険と市民の健康について
2 マイナ保険証について

古沢利之 議員



Q 富山県厚生部の資料では、令和3年度の本市の国保の療養諸費は、一人当たり45万円余りで前年度比で15%、県下で最も大きな増加率だった。どう見ているか。

A 小川医療保健課長 令和2年度では新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受け受診を控える傾向にあった。令和3年度は高額医療の方が多かったとみている。診療の受診勧奨、重症化の予防で医療費の適正化に努めたい。

Q 令和3年度、本市の一世帯当たりの国保税の調定額は15万1千円余りで、県下で高いほうから5番目。負担について認識を問う。

A 小川医療保健課長 所得100万円以下の世帯は令和4年7月で57.4%で増加傾向にある。低所得者や高齢者が多い被保険者にとって負担は重いと思われる。

Q 国保の構造的な課題の解決に、公費の投入は避けられない。

A 小川医療保健課長 全国市長会も財政支援の拡充を要望している。負担が軽くなるよう求めている。

Q 富山県保険医協会では、6割強の医療機関でマイナ保険証のトラブルがあったとされた。来年初に現行保険証の廃止への不安は大変大きい。どう受け止めているか。

A 小川医療保健課長 保険証情報の誤登録などはあつてはならない。国には正確に登録されるよう対策を講じてほしい。

Q 最も心配なのはマイナ保険証を持ってない人への対応だ。高齢者施設の入所者の多くは、認知症症状があつてマイナンバーカードの取得が困難だ。

A 小川医療保健課長 そうした声が直接届いているわけではないが、報道、情報としては聞いている。

Q マイナ保険証を取得できない人には一年ごとに更新の資格確認書を交付するとされている。

A 小川医療保健課長 資格確認書は一年ごとの更新と聞いている。Q 国保でいえば、保険証の交付は申請によるまでもなく、市町村の義務とされている。

A 小川医療保健課長 資格確認書は本人の申請で交付すると認識している。申請できない方には職権で交付できるとも認識している。

Q 国は一律的な職権交付はできないとしている。申請ができず、無保険となる方が出る。来年初の保険証廃止の中止を求めべきだ。

A 水野市長 今の指摘を踏まえ、全国市長会等を通じ、より良い形になるよう国に要望していく。

一般質問



1 防災訓練について
2 交通安全について
3 市からの情報発信について

高川正樹 議員



Q 防災訓練の内容について問う。

A 高倉総務課長 災害に備え、防災意識を高めることを目的に、8月20日の日曜日、中滑川複合施設を会場として、地震と津波の災害を想定した総合防災訓練を実施する予定である。訓練の内容としては、災害対策本部の設置訓練、防災行政無線や「結ネット」を用いた情報伝達訓練、避難所の開設訓練などのほか、避難訓練や初期消火訓練など、市民参加型の訓練も予定している。滑川東地区と滑川西地区の方々を対象としており、各地区自治会連合会と調整を図っている。また、滑川警察署をはじめ、関係機関や各種団体にも参加を呼びかけており、防災展示や防災講座等も併せて実施したいと考えている。なお、当日は市民一人一人に災害に対する備えを確認していたり、想定している。

Q 市民にどのような交通安全対策を行っているか。

A 相沢生活環境課長 市民に幅広く交通安全対策を行うことを基本とする中で、特に高齢者と子どもに対する交通安全対策を重点に置きつつ、各種の施策を実施している。具体的には、毎年9月に開催している「滑川市交通安全市民大会」、また市内の保育所、小中学校における交通安全教室、高齢者を対象とした参加体験型のシルバードライビングスクールの実施、いきいき市政講座による交通安全教室など、市民の意識の向上に向けて、年齢や目的に沿った事業を展開している。

Q 滑川市のホームページの見やすさや分かりやすさについてどのように考えているか。

A 松山DX推進課長 一般的に行政のホームページでは、見やすさを重視したシンプルなデザインや、利用者が必要とする情報へ容易にアクセスできるように、整理されたカテゴリー構成などが重要な要素と挙げられる。また各ページ上においても情報を断層的に整理し、簡素な表現を用いるなど、多様な利用者へ情報を分かりやすく届けられるような配慮が必要と思う。

一般質問



青山 幸 生 議員

- 1 重点事業に関する要望について
- 2 タラソピアについて
- 3 過去に質問した項目について



Q 新たな警察署の整備について、これまでの市と県の進捗はどうか。

A 相沢生活環境課長 統合する警察署の管内ごとに、警察本部が主催する管内別公聴会が開催されている。昨年11月に第1回、また本年の2月に第2回の公聴会が開催され、再編整備の内容や建設候補地の選定基準、概要などの説明を受けて出席者から意見の聞き取りが行われたものである。本市での警察署設置の必要性を説明して、本市における整備を要望したところだ。

Q 重点事業要望の中に、本市の国道8号線、上島神社前交差点周辺での新たな警察署の整備について、西加積地区及び上島町内会との話し合いや意見聴取、傾聴などは行ったか。

A 相沢生活環境課長 管内公聴会の場において、委員である市の自治会連合会長からも、本市内での整備となった際には、自治会連合会として地元調整も含め、全面的に協力いただける旨の発言もいただいているところだ。

Q タラソピア廃止後の活用は、どの程度の予算規模を想定しているか。

A 永田観光課長 タラソピア廃止後の活用については解体の可能性も含め、改めてサウンディング型市場調査をしたいと思う。より具体的に実際の収支を含めて提案いただくような調査をしたいと思っている。予算規模についてはこの後実施するその調査も参考にしながら、今後積算していきたい。

Q 3月定例会では市制70周年にキラリンに関する内容がない旨の質問をした。市長からは、キラリンの絵本で何か考えるところであったが進捗はどうか。

A 丸山生涯学習・スポーツ課長 キラリンの絵本「キラリン光の旅」については、子ども図書館にたくさんの方が集う場所にするため、滑川市のイメージアップキャラクター、キラリンを主人公として作成したものだ。3月定例会で絵本の続編を作成することについて、提案をいただいたとおり、子供たちにも用いながら、いろんな方々の意見も聞きます。

Q 今年もほたるいか海上観光が4月1日から5月7日まで実施され、出航率は、51.4%、昨年の63.1%を下回り、乗船者は1,048人であった。多くの方々に楽しんでもらうには対策が必要と思うが。

A 永田水産観光課長 県内外はもとより海外からも多くの方に予約していたのだが、安全第一で運行を行うため、やむなく欠航することがある。その際、ほたるいかミュージアムの見学とか、水揚げの様子の見学を行うことを丁寧に説明している。

Q タラソピア・青雲閣については今年度をもって廃止するというところで発表され、今後については、今年度以降に検討するところだが。

A 水野市長 今年度の3月にタラソピアの機能は現状のまま、廃止するという結論に達した。利用者があるのは十分承知している。令和5年度3月末まで方向性を出します。公民連携、いろんな手法も用いながら、いろんな方々の意見も聞きます。

Q 青雲閣は建設されてから50年経過して耐震強度不足ということだが、多くの児童・生徒や社会人が

研修などに利用できる施設を考えると欲しいと思うが。

A 水野市長 青雲閣は耐震化されていない。それが一番大きな問題で東福寺野自然公園と一体的に何か出来ないか、サウンディング市場調査等で提案を頂きながら考える。

Q 滑川漁港周辺や滑川蒲鉾跡地の利活用方針や旧市営住宅滑川駅前団地跡地はどう活用されるのか。

A 永田水産観光課長 浜の活力再生プランの整合性を図りつつ、漁業関係者などの意見を伺いながら検討する。

Q SDGsに焦点を合わせ取り組み事業が予算化されているが具体的に。

A 高森企画政策課長 温室効果ガスの排出量削減等を推進するため、具体的な課題や事例を通して、実践的な取り組みにつなげる。

Q 市道北野浜四ツ屋線に歩道の整備をお願いできないか。

A 荒俣建設課長 歩道整備の進捗状況を見極め、要望されている路線について、優先順位を考慮し、整備について検討していく。

一般質問



中川 勲 議員

- 1 滑川ほたるいか海上観光について
- 2 タラソピア・青雲閣について
- 3 SDGsについて
- 4 通学道路について
- 5



一般質問



吉森 真人 議員

- 1 公共施設設備の維持管理について
- 2 小中学校への教育支援について



Q みのわ温泉では昨年12月10日より源泉の供給停止が続いている。4月に原因調査するとあったが結果について問う。

A 丸山生涯学習・スポーツ課長 源泉をくみ上げる管の周りを覆う配管が腐食して穴が空き、そこから地下水が流入し、コンプレッサー等の機能が正常に働かなくなつたことが原因である。復旧には配管を改修する必要があるが、井戸の400メートル地点に堆積物があり、その除去作業を行わなければ改修工事に着手できない。

Q みのわ温泉の今後の対応について温泉供給会社の意向及び市としての考えを問う。

A 丸山生涯学習・スポーツ課長 源泉供給が早期に再開できるように、既存の配管を修理するのか、新たな源泉井戸を採掘するのか。いずれにしても、多額の費用がかかる事であり、源泉を管理する会社と今後の対応について協議しているところである。

Q 文部科学省は、フリースクールやICTを活用とした学習活動でも要件を満たせば出席扱いにできると公表している。本市においても出席扱いにする考えがあるのか。

A 椎名教育総務課長 フリースクールの設立目的や活動内容が当該

児童・生徒にとつて有意義なものであり、また学校、施設、保護者がお互いの考えを理解し合い、子供の将来に向けて意思疎通を図る連携ができている場合は出席扱いにすることとしている。

Q 全国には、フリースクール等を利用する家庭へ補助金を出している自治体が僅かながらある。本市においても利用する児童・生徒たちへ公的支援を行つてはどうか。

A 椎名教育総務課長 フリースクール等の民間施設が、子供の社会的自立を図る上で重要となることも考えられることから、児童・生徒及びその保護者や家族に対する支援については、補助金を出している市町村、また国や県内外の他市町村の動向を注視しながら、今後研究を進めたい。

Q 休職している教職員の代替教員等が配置されていないと聞くと対応はどうなっているのか。

A 椎名教育総務課長 教員の成り手不足のため、代替教員が初日から配置されない場合もあり、無担任の教員や教務主任等で担任業務や授業を担当している。このことについては担当課長として申し訳ないと思つている。引き続き、教育委員会に要望や情報提供し、代替教員の早期確保に努めたい。

一般質問



開田 晃 江 議員

- 1 安全確保の取組について
- 2 海の観光・道の駅について
- 3 障がい者雇用について



Q スポーツ・健康の森公園陸上競技場の夜間照明がとても暗い。公園の安全のため、現在の利用に合わせた照明が必要と考えるが。

A 丸山生涯学習・スポーツ課長 竣工当時は陸上競技場の夜間照明を設置していなかった。現在、夜間練習でも利用され、以前からトラックの海側、バックストレートが暗く、照明をつけて欲しいとの意見があり、照明の設置について検討していききたい。

Q 陸上競技場のスターティングブロックのピンが刺さらず、固定できなかつたと聞いた。スターティングブロックの状態はどうか。

A 丸山生涯学習・スポーツ課長 ブロックを固定するためのピンがすり減つており固定できなかつた。現在、ピンを取り替え、固定できるようにした。今後、備品の破損等の確認を定期的に行い、管理を徹底していききたい。

Q ほたるいかミュージアム開館30周年に向けて、エレベーター設置を検討してはどうか。

A 永田水産観光課長 30周年に向け、エレベーター設置の必要性も含め、検討していききたい。

Q ホテルイカがない時期でも体験できるVR体験は、年間を通じた観光の魅力向上が期待されるが、今後のVR活用をどのように考えているか。

A 永田水産観光課長 VR体験はオフシーズンの集客に大きな可能性を感じるコンテンツと思つているので、今後さらなるPRに努めていく。

Q ミュージアムの30周年には、水野市長を先頭にプロジェクトチームを立ち上げて向き合つて欲しい。

A 水野市長 澤田市長肝煎りのほたるいかミュージアム、30周年に向けて、何かしらのでこ入れは必要かと考えている。

Q 滑川のゆでガニを戦略的にPRし、新たなブランド化を。

A 永田水産観光課長 ベニズワイガニは、ホテルイカの次に水揚げが多く、PR活動やブランド化の効果の必要性が高いと考えている。

Q 滑川市役所における障害者雇用率はどうなっているか。

A 高倉総務課長 障害者の雇用促進等に関する法律に基づくと、市役所の雇用率は2・31%で、法定雇用率の2・6%を達成していない。

一般質問



1

滑川市版SDGs推進事業について

谷崎潤一 議員



Q SDGs推進事業における地方公共団体実行計画（区域施策編）策定のための企業・市民向けアンケート内容について問う。

A 高森企画政策課長 企業・市民向けに行うアンケートの内容につきましては、市民や企業の地球温暖化に対する意識や取組状況を把握し、温室効果ガス排出量の現状推計等に加味するとともに、今後の目標設定や施策の検討においても活用し、計画に反映することを目的としてアンケートを実施するものである。これから内容を決める予定であり、設問の方向性として、地球温暖化対策への関心や認知度を把握するもの、省エネ設備やエコカー、太陽光発電設備等の導入状況を把握するもの、設備導入の意向や導入の際の課題等を把握するものの3つを伺うものを現状考えている。

Q アンケートで得られた基礎情報をどのように活かし、目標設定するのか。

市議会定例会の本会議の様子は、配信しております。

おり、アンケート結果は、部門別の現状把握のほか、地域特性を活かした現実的な温室効果ガス排出削減目標や、再エネ導入目標などの設定に活かしていくこととしている。また、脱炭素について先行している企業等の取組を他部門等に展開するための施策の検討などにも活かしていきたい。

Q 地域の特性を踏まえた再生可能エネルギーの導入目標として、マイクロ水力発電（小水力）を検討する予定はあるか。

A 高森企画政策課長 本市においては、土地改良区や民間企業が設置した小水力発電所が稼働しているところである。今年度から2カ年で作成予定の区域施策編での作成過程や県が今年度実施する小水力発電導入可能性調査の結果を踏まえて、今後の小水力発電の導入の可能性を検討していきたい。

その他の質問
・滑川市内の子育て支援について

6月20日（火）、西部小学校6年生55名が代表質問を傍聴しました。

その感想をいくつか紹介します。

- ・ タイマーが質問者のときだけ動くのが気になりました。
- ・ 議会と聞くと怖いイメージがあったが、何回か笑い声が聞こえてきて意外と怖くなかった。
- ・ 子供たちが楽しく、かつ、将来の子供たちのことも考えていて、すごいと思った。
- ・ 市民の願いや、暮らしやすい市にするために、市の予算や子供の状況を把握していることが分かった。
- ・ 国の省や庁のように、委員会など専門の担当のようなものが振り分けられていた。
- ・ 中学生、観光客、部活の指導者など、いろいろな人のためを思って議会を開いてすごいと思った。
- ・ 学校と同じで、手を挙げなければ質問や発言をはいけないことに気が付きました。
- ・ 空気が凍ってたら、質問者の方が空気を和ませていたのすごいと思っ
- ・ とても静かで、相手の話を聞こうという態度が見られました。
- ・ ぼくたちのことをたくさん考えていてくれて、たくさんの人と関わっていること、誰かがぼくたちのために働いてくれているということ意識して生活していきたい（感謝）。
- ・ みなさんとても集中していて、聞かれてすぐに意見を言っていたのがすごいと思った。
- ・ 市民のことをよく考えてくれていると感じた。特に「（サマースクールに参加した子供は）夏休みの宿題をゼ口にしたい」という発言が心に残ったので、実現してほしい。
- ・ 滑川市のいろいろな情報をゲットして、根拠や理由をしっかりと考えて市議会に向けて準備をしていると分かった。
- ・ 教科書と間近に見るとではちがうと思っ
- た。また、一つの議題でここまで話し合えるのがすごいと思っ



<傍聴の様子>

ケーブルテレビ121チャンネルで、生放送及び録画放送を実施しております。また、録画放送はYouTubeでも

令和5年度 議会報告会を 開催しました

5月19日（金）、中滑川複合施設「メリカ」フリースペースにおいて、令和5年度議会報告会を開催しました。

当日は平日にもかかわらず、19人の皆さんにご参加いただきました。報告会では尾崎議長のあいさつに続き、古沢広報広聴委員長から開催説明があり、各常任委員長から所管などの説明、新規事業の紹介を行いました。



その後の意見交換・発表を4つのグループに分かれて行いました。事前に5つのテーマを提示しましたが、どのような内容や方法で意見交換を行うかは、各グループで決めていただきました。

参加者からは積極的意見や要望をいただきました。

提示した5つのテーマ

- ① 新しい『メリカ』『オートキャンプ場』で何したい？
- ② 子育て支援の次なる一手！
（新しい子育て支援のカタチ）
- ③ 高齢者の健康・生きがいづくり
（健康寿命延伸に向けて）
- ④ 滑川市に望むこと
（子供たちの未来は？）
- ⑤ 市議会、議員に期待すること
（議会、議員に何を求める？）

意見交換での各グループ テーマ別の主な意見

Aグループ

（青山議員・竹原議員・原議員）

- ① 現状メリカにわくわく感が少ない

・今後、議員がどう関わっていくのか、いいアイデアを出していただきたい
・キャンプ場を实际利用して、これから夏に向けて、屋根がないところが心配
② 育休制度を活用している男性職員は少ないのが現状ではないか
・地元の子どもが都会に出て行ってしまうのを止めなければいけない

③ 女性の健康寿命が短いので、延ばす取組が必要
④ 高齢者の買い物難民が今後増えるのでは
⑤ 情熱のある議員が多いと思う

Bグループ

（谷崎議員・水橋議員・岩城議員）

- ① メリカの災害時の使い方が見えにくい（備蓄品の量、水の量、何が保管されているのか）
- ・市ホームページにメリカやオートキャンプ場のリンクがはられていないのでは
- ・メリカでは物販イベント、オートキャンプ場ではコンサートなどイベントを増やしてほしい
- ・気軽な料金で料理教室を開催し

Cグループ

（吉森議員・高川議員・大浦議員）

- 【テーマに限定せず、いろんな意見交換を行った】
- ・田んぼを管理できなくなった方と、その田んぼを使いたい方をマッチングし活用できないか
 - ・滑川駅の山側に屋根がある施設があれば良い
 - ・レストラン光彩まで上る階段の手すりがないので、足の不自由な方がしつかり握れるものが良い
 - ・メリカのひかる市は前の方が使い勝手良かったという意見がある
 - ・半分を喫茶など和める場所にするのはどうか

てほしい

② 病児保育の取組を行ってほしい
・児童館や富山型デイサービスのような老人ホーム内に病児保育があってもよいのでは

③ 市民農園を増やし、生きがいを見つけてもらう動きをつくってみるのはどうか

④ 商業施設が少ない
・映画館やアミューズメントを今ある施設でどうにかできないか

⑤ (時間の都合上、意見交換なし)

- ・オートキャンプ場は子どもの遊び場がなく屋根もない
- ・アスレチックや屋根をつけるなど改善を希望している

Dグループ

(安達議員・開田議員・中川副議長)

①・オートキャンプ場の利用料を無料にしてほしい

・アメリカのひかる市はそのまま続けて欲しい

② (内容がグループ参加者に合わなかったため、意見交換なし)

③・ポッチャやパークゴルフなど、老人クラブのいきいき講座が良い

・散歩コースにベンチを設置してほしい

④・あいさつができる子に

・笑って、声かけ運動

⑤・永代地上権の問題について

姉妹都市議会交流

那須塩原市議会が4月13日(木)に7年ぶりに来滑し、交流を深めました。メリカとほたるいかミュージアムを視察されました。



<小諸市議会視察 (ほたるいかミュージアム)>

小諸市議会が4月19日(水)に4年ぶりに来滑し、交流を深めました。メリカとほたるいかミュージアムを視察されました。



<那須塩原市議会視察 (メリカ)>

陳情・意見書提出要請・要望書

件名及び提出者

処理結果

・陳情(2件)

1 海洋深層水施設の設置に関する陳情書…………… 不採択

タラソピアを存続させる会 会長 野徳 賢司

2 全国霊感商法対策弁護士連絡会の不当な声明に対する陳情…………… 全議員へ参考配付

芝田 隆義

・意見書提出要請(1件)

・ 日本政府に核兵器禁止条約の参加・署名・批准を求める意見書

…………… 議会運営委員会不一致

2023年原水爆禁止国民平和大行進富山県実行委員会 代表委員 中山 洋一

・要望書(1件)

・ 国に対し、適格請求書等保存方式(インボイス制度)の延期・見直しを求める陳情書

…………… 全議員へ参考配付

インボイス制度を考えるフリーランスの会 代表 阿部 伸

議決結果

議案番号	議案内容等	委員会	採決結果
議案第23号	令和5年度滑川市一般会計補正予算(第2号)	総産	原案可決
議案第24号	令和5年度滑川市下水道事業会計補正予算(第1号)	産	原案可決
議案第25号	滑川市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例の制定について	産	原案可決
議案第26号	滑川市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例並びに滑川市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	総	原案可決
議案第27号	滑川市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について	産	原案可決
議案第28号	滑川市工業振興条例の一部を改正する条例の制定について	産	原案可決
議案第29号	不動産の処分について	総	原案可決
議案第30号	地方自治法第179条による専決処分の承認を求めることについて 専決第1号 令和4年度滑川市一般会計補正予算(第8号) 専決第2号 滑川市税条例の一部を改正する条例の制定について 専決第3号 令和5年度滑川市一般会計補正予算(第1号)	総産	原案承認
議案第31号～第38号	滑川市農業委員会委員の任命について	—	原案同意
陳情第1号	海洋深層水施設の設置に関する陳情書	産	不採択
議案第39号	令和5年度滑川市一般会計補正予算(第3号)(第1回臨時会)	総	原案可決

委員会欄は、その案件が付託された委員会を表しています。記載のない場合は、委員会に付託されていません。

※委員会…総：総務文教消防委員会、産：産業厚生建設委員会

賛否一覧表

6月定例会、第1回臨時会の議案については全員賛成で、陳情については全員反対だったため、賛否一覧表は掲載してありません。

原明委員
大浦豊貴委員
安達真隆委員
岩城晶巳委員長
高川正樹副委員長
水橋真治委員
竹原正人委員

【議会報編集委員】

電話 47512120

「市議会だより」について、皆さんのご意見をお寄せください。市議会の本会議は、ケーブルテレビで放送しておりますが、議場で直接、傍聴してみませんか。詳しくは、事務局までご連絡ください。

議会報編集委員会から

9月定例会が下記の日程で開催されます

日	時間	摘要
9月5日(火)	10時	会期の決定、提案理由説明、補足説明
12日(火)	10時	代表、一般質問
13日(水)	10時	一般質問
15日(金)	10時	総務文教消防委員会
	13時30分	産業厚生建設委員会
19日(火)～21日(木)・26日(火)	10時	決算特別委員会
28日(木)	11時	委員長報告、質疑、討論、採決